

補装具価格根拠調査内容の検討（義肢・装具・座位保持装置）

研究分担者 我澤 賢之 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部 主任研究官
山崎 伸也 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
義肢装具技術研究部 副義肢装具士長

研究要旨

本研究の目的は、研究の立場からこの補装具価格改定の際参考となる基礎データの仕様ならびに収集にかかるプロトコルを開発し、財源面・供給に携わる事業者の経営面の双方において持続可能な補装具供給制度に資することにある。

今回の報告書では、補装具のなかで原価計算に基づく価格設定が行われており、義肢・装具・座位保持装置について価格根拠調査検討の途中状況を報告する。当該補装具の製作事業者団体である日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会から調査事項・方法に関する意見の集約作業を行った。引き続き、価格根拠把握のための調査内容検討および調査票作成作業を進め、実際に製作事業者等を対象とした調査を進める予定である。

A. 目的

補装具費支給制度は本邦における福祉用具の公的給付の根幹をなす制度である。補装具の価格は補装具費支給基準により定められており、通常3年おきに改定の検討が行われている。

本研究の目的は、研究の立場からこの補装具価格改定の際参考となる基礎データの仕様ならびに収集にかかるプロトコルを開発し、財源面・供給に携わる事業者の経営面の双方において持続可能な補装具供給制度に資することにある。

今回の報告書では、補装具のなかで原価計算に基づく価格設定が行われており、義肢・装具・座位保持装置¹（以下、義肢等）について価格根拠調査検討の途中状況を報告する。これらの種目のうち義肢、座位保持装置については事業単体での採

算が厳しいとの見方もあり、妥当な価格設定のための有用な基礎情報を得ることは重要である²。

B. 方法

義肢・装具・座位保持装置の価格構成は、公的文書としては厚生労働省「義肢、装具及び座位保持装置に係る補装具費支給事務取扱要領」[6]に示されている。

これらの種目の価格は複数の項目に分割する形で定められている。

¹この原価計算に基づく価格設定の具体的な考え方の理論的根拠は、飯田[1]（義肢を対象）、飯田[2]（装具を対象）に示されている。これらの報告書で示された考え方および調査結果が現在の義肢・装具引いては座位保持装置の価格設定方法の基礎となっていると考えられる。

²義肢等を扱う事業者全体の対売上高経常利益率の平均（2.8%。平成24年度）については、法人企業統計調査対象の資本金1億円以下の企業（同3.2%）や製造業（同4.3）各平均との比較において低い結果となっている（我澤他[3]）。事業単体では、義肢・座位保持装置については、方法上誤差の大きい手法による統計分析研究ながら我澤、山崎[4]で採算が厳しい可能性を示している（平成20～22年度データによる推計）。また我澤他[5]では義肢・装具を扱わず座位保持装置を扱っている事業所の経常利益率にかかる調査結果平均が赤字であった（平成24年度）。

基本価格：採型（又は採寸。ただし、義肢の場合は採型のみ）使用材料費及び該当補装具の名称、型式別に設けられている基本工作に要する加工費の計

製作要素価格：材料の購入費及び当該材料を該当補装具の形態に適合するように行う加工、組み合わせ、結合の各作業によって発生する価格の計

完成用部品価格：完成用部品の購入費及び当該部品の管理等に要する経費の計

基本価格、製作要素価格は種目毎に複数の項目が設定されている（厚生労働省[7]）。義肢等補装具の価格は、身体の適用部位ならびに採型・採寸の別に基づき基本価格項目いずれか1つの価格と、必要な製作要素項目、完成用部品（それぞれ複数該当・使用がありうる）の価格が加算されることで規定される。

これらの価格項目のうち、3年に一度の価格改定の対象となるのは、基本価格ならびに製作要素価格の部分である³。これらの価格の構成要素としては下記の2つがある。

使用材料費：素材費（当該補装具材料リストによる素材購入費）、素材のロス、小物材料費

製作加工費：作業人件費（製作を遂行するために必要な正味作業時間相当人件費。給与、賞与、退職手当、法定福利費等）、作業時間の余裕割増（製作の準備、段取り、清掃、作業場の整理及び生理的余裕等の正味作業時間相当人件費）、製造間接費、管理販売経費

前掲の飯田による報告書で示された価格設定方法は、これらの費用を

$$\text{使用材料費} = \text{係数} \times \text{素材費}$$

$$\text{製作加工費} = \text{係数} \times \text{作業人件費}$$

の形で定式化している。ここで、「係数」は実態調査結果に基づき、補装具種目毎に素材費に乗じる係数と作業人件費に乗じる係数とを別個に提示している。

現行制度の枠内で妥当な価格のための価格根拠を提示するには、素材費、作業人件費ならびにそれらに対応する係数の根拠データを用意する必要がある。

本研究では、前回補装具価格の検討が行われた平成27年度価格改訂の際その一部が参考とされた、義肢・装具・座位保持装置価格根拠調査（我澤他[3]所収）のうち、素材費にかかる素材単価、作業人件費にかかる時間当たり人件費単価ならびに収支に関する調査票（本分担報告書末尾に収録）をベースに、製作事業者の団体である日本義肢協会（義肢・装具）、日本車椅子シーティング協会（座位保持装置）に調査内容および回答の容易さ・正確さを向上するための意見等を集約し、これを踏まえ新プロトコルで用いるために調査票の改訂・追加を行う。

現在まだ作業中であるが、現時点の状況についてまとめる。

（倫理面への配慮）

本研究では、個人情報を対象とした調査等は行わないため該当しない。

C. 現時点での結果

製作事業者団体からのコメントを踏まえ、研究担当者がこれを検討し、現時点では下記の点を調査票改訂の主な論点と考えている。

<素材費：素材単価について>

³ 残る完成用部品価格については、通例年度毎に厚生労働省が完成用部品の指定・変更（価格変更を含む）・削除申請受付および審査を行い、その結果を踏まえて定められている。

- ・対象素材の一部見直しが必要。
- ・前回の調査票は、凡ての調査対象素材を一様に提示しているが、対象補装具種目を示したほうが回答者にとって解りやすい。
- ・仕入れ先によって同じ素材であったとしても名称が異なる場合があるので、対応関係がわかるものを用意するとよい。

<作業人件費：人件費単価について>

実態把握に基づく人件費単価設定について

- ・前回の調査票では、現状の人件費単価を把握するため、月間ののべ作業時間とのべ人件費を記載していただき、そこから人件費単価を算出する方法を用いていた。しかし、正しい労働時間を把握するには、実測に基づく記入を検討すべきである。具体的には、調査対象事業者にエクセルに出勤時間・休憩時間及び退勤時間を1～2週間入力していただき、そこから自動計算で1か月の労働時間を推計するようにするなどの仕掛けが考えられる。
- ・「週 20 時間以上勤務」「週 20 時間未満勤務」の切り分けの見直しが必要ではないか。
- ・職種分類の見直しが必要ではないか。
適合に関わる専門職(シーティングエンジニア、義肢装具士等)とそれ以外の職種の者の給与を同一とするか、分けるかについて検討。
また前回調査票では経営者が別個に分類されているが、義肢の場合、経営者が営業等製作作業に従事する部分も大きい。専門職資格等を有する経営者と経営専従者を分けることを件乙。
- ・「のべ」の範囲がわかりにくいので、解りやすく示すべき。
- ・諸手当の記載をどう位置づければよいか前回の調査票では解りにくい。
- ・パート従業員の社会保険料負担の変化を把握できるように。

実態把握以外の方法に基づく人件費単価案について

- ・給与水準をどのくらいとするのが妥当かを検討し、そこから労働時間を考慮し人件費単価を求める方法がある。

給与水準をどのくらいと考えるについては、下記の方法が考えられる。

- ・業者が適当と考える給与を調査する。
- ・公務員、製造業平均、医療周辺職等を参考にする。
- ・品質が保たれ(あるいは向上し)かつ従事者が居つく持続性のある給与水準とする。

<収支>

- ・事業所の採算が、どのように成り立っているのか客観的に解りやすくするため、収益面について補装具種目・制度(障害福祉、医療等)別の売上情報を得られるようにしていくべき。
- ・支出について、費用の内訳(人件費、その他重要と思われる項目について)を併記するようすべき。
- ・近年社会的状況等の反映により増加を要している支出費目について、異時点間の比較調査を調査対象を絞ってでもできないか。

<「係数」の算定について>

- ・係数に含まれる、製造経費、一般管理費、支払利息、利益は最終的な価格に対して一定の割合を占めると考えて計算して求めるべきで、その割合の根拠については業者への調査をもととするという意見があった。これについて、種目別にこれを把握するための具体的な方法の検討が必要である
- ・正味作業時間外に関連し出張等の時間の把握をできれば種目別に行う(医療機関等での待機時間、使用者宅へ出張修理など)。出張修理等、種目によっては労働時間に高い比重を占めている可能性がある。

D. 考察

- ・素材単価、人件費単価実態の把握については、前回調査票をベースとしつつ、必要な修正を加えまとめる検討を考えている。
- ・あるべき人件費単価について。現状人件費単価については実態数値を元にした数値が価格改定に際し参照されている。これに対し、人件費単価については示し、実態との比較を行うことは有用と考えられる。研究上の観点から、そもそもどれぐらいが妥当かという議論はあつてしかるべきであるし、仮に実態ベースの人件費単価を価格検討の参照数値とする場合であっても、それに基づく価格変更の必要性を判断するうえで比較対象数値は重要である。
- ・いわゆる「係数」について調査すべきとの意見があつた。この点については、いかに現実で必要なデータを把握するか具体的な方法の検討が重要であると考えられる。（昭和50年代に行われた飯田[1]等の方法は調査内容が精細で回答負担が大きい。この点を考慮し、収支データを中心とする調査が我澤[3]で試みられたが誤差が大きい結果となつた。）
- ・研究当初時点の考えとしては、過去の研究（山内他[8]、我澤、山崎[9]）から正味作業時間が以前に比べ長くなつてきていることが示唆されており、その背景と時間が長くなつたことを制度に反映すべきか否かに関するデータの把握を行いたいと考えていたが、今のところ有力な方法は得られていない。

E. 結論

日本義肢協会・日本車椅子シーティング協会との意見交換を更に進め、引き続き、価格根拠把握のための調査内容検討および調査票作成作業を行い、実際に製作事業者等を対象とした調査を進める予定である。

F. 引用文献

[1] 飯田卯之吉：厚生省厚生科学研究（特別研究事業）昭和53年度特別研究報告書（別冊）「補

装具の種目・構造・工作法に関する体系的研究」（主任研究者 飯田卯之吉），1979.

[2] 飯田卯之吉：厚生省厚生科学研究（特別研究事業）昭和54年度特別研究報告書「補装具の種目・構造・工作法に関する体系的研究」（主任研究者 飯田卯之吉），1980.

[3] 我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅：分担研究報告書「義肢・装具・座位保持装置の製作費用調査」，厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」（研究代表者 井上剛伸）平成26年度総括・分担研究報告書，p. 23-63，http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/hosougukenkyu/doc/hosougu_soukatsubuntan_H26.pdf，(2015).

[4] 我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅：研究分担報告書「補装具費支給制度の価格に関する課題抽出」，厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究」（研究代表者 相川孝訓）平成24年度総括・分担研究報告書，p. 37-59，(2013).

[5] 我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅：（参考）義肢・装具・座位保持装置の事業別収支・費用構成の傾向，厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」（研究代表者 井上剛伸）平成27年度総括・分担研究報告書，p. 95-100，http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/hosougukenkyu/doc/hosougu_soukatsubuntan_H27_with_siryu.pdf，(2016).

[6] 厚生労働省：義肢、装具及び座位保持装置に係る補装具費支給事務取扱要領，障地発第0929002号平成18年9月29日最終改正障企自発0331第1号平成27年3月31日，<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-1220-0000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/000009-0363.pdf>，(2015).

[7] 厚生労働省：補装具の種目、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準，厚生労働省告示平成18年9月29日第528号第8次改正

平成 27 年 3 月 31 日厚生労働省告示第 202 号,
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-1220-0000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000083376.pdf>, (2015) .

[8] 山内繁他：「義肢装具の工作法等に関する調査研究報告書」，テクノエイド協会，（1988）．

[9] 我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅：研究分担報告書「補装具費支給制度の価格に関する課題抽出」，厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究」（研究代表者 相川孝訓）平成 23 年度 総括・分担研究報告書，p. 76-116, (2012) .

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権に出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

義肢・装具・座位保持装置製作費用等基礎調査
調査票A：人件費（移動時間を含む）・収支について

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
山崎 健也
我澤 賢之

※本研究は、厚生労働科学研究費補助金総合研究事業（身体・知的障害者分野）「補
装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」（研究代表者 井上 剛
伸）を受け行っております。

● 事業所名・所在地・ご回答担当者様等について

貴事業所ならびに担当者様についてご記入下さい。

事業所の所在する都道府県名につ いてご記入下さい。	
ご回答事業者様事業所名	
担当者様ご氏名	
担当者様電話番号	
担当者様メールアドレス (メールご使用の場合)	

下記の細具の取扱いの有無について、取扱いのあるものに○、ないものに×をお書き下さい。

義肢	
装具	
座位保持装置	

※1つ以上に○がある場合 ー 以下の説明にお答え下さい。
 ※すべて×である場合 ー ご回答いただく箇所はごまみです。ご協力ありがとうございます。ご返送ください。
 ※お手数ですが、同封の返信用封筒もしくはメールにてご返送ください。

下記の団体へ加入されている場合、○印をお書き下さい。
 日本義肢協会
 日本車いすシーティング協会

● 毎月の給与等支給について1

記入対象期間 2013年9月1日～9月30日

※給与計算の締め日が月末でない場合は、2013年9月30日を含む給与計算期間についてご記入下さい。例)毎月20日締めの場合 2013年9月21日～10月20日

この場合、該当する給与計算期間をご回答下さい。 ー 2013年 月 日 ~ 月 日

※対象者、対象支給がない場合は該当欄を空欄にせず「0」をご記入ください。

	1.従業員数 単位：人	2.1ヶ月間の 延べ出勤日数 単位：日	3.1ヶ月間の延べ実労働時間数 単位：時間		4.毎月支給される給与等(支給額ベース) ※賞与等は含みません。 合計(=4a+4b+4c) 単位：円			
			所定内労働時間	所定外労働時間	4a 通常労 賃支給分 (税引前。残 業含む)	4b 退職金 その他積み 立て	4c 法定福 利費	
週20時間以上勤務の方について								
a [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営 業に従事する義肢装具士について(註1・註2)								
b [その他製作従事者] 義肢・装具の製作・座位保持 装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない 従業員について(註1・註2)								
c [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務 にかかると従業員について(註2)								
d 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従 業員について								
e 会計士等事務にかかると専門技能を持つ人の雇用、 用務依頼等(註3)。								
週20時間未満勤務の方について								
f [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営 業に従事する義肢装具士について(註1・註2)								
g [その他製作従事者] 義肢・装具の製作・座位保持 装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない 従業員について(註1・註2)								
h [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務 にかかると従業員について(註2)								
i 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従 業員について								
j 会計士等事務にかかると専門技能を持つ人の雇用、 用務依頼等(註3)。								

註1 座位保持装置事業と車いす事業との間で、切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた数値をご記入ください。

註2 経営者で、かつ製作あるいは営業を兼務されている方(義肢装具士資格を持つ経営者の方を含みます)につきましては、管理部門の欄にご記入下さい。

註3 外部事業者との契約による場合対象1事業者につき1名としてください。月額契約はその月額を記入、決算期等で費用が異なる場合は12カ月分と決算料を
合算し12で割った額を記入してください。

●毎月の給与等支給について2

記入対象期間 2013年10月1日～10月31日

※給与計算の締め日が月末でない場合は、2013年10月31日を含む給与計算期間についてご記入下さい。例)毎月20日締めの場合 2013年10月21日～11月20日

この場合、該当する給与計算期間をご回答下さい。→ 2013年 月 日 ～ 月 日

※対象者、対象支給がない場合は該当欄に「0」をご記入ください。

	1.従業員数 単位:人	2.1ヶ月間の 延べ出勤日数 単位:日	3.1ヶ月間の延べ実労働時間数 単位:時間		4.毎月支給される給与等(支給額ベース) ※賞与等は含みません。 合計(=4a+4b+4c) 単位:円		
			所定内労働時間	所定外労働時間	4a 通常労 賃支給分 (税引前。残 業含む)	4b 退職金 その他積み 立て	4c 法定福 利費
週20時間以上勤務の方について							
a [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)							
b [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)							
c [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)							
d 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について							
e 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等(註3)。							
週20時間未満勤務の方について							
f [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)							
g [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)							
h [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)							
i 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について							
j 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等(註3)。							

註1 座位保持装置事業と車いす事業との間で、切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた数値をご記入ください。

註2 経営者で、かつ製作あるいは営業を兼務されている方(義肢装具士資格を持つ経営者の方を含みます)につきましては、管理部門の欄にご記入下さい。

註3 外部事業者との契約による場合対象1事業者につき1名としてください。月額契約はその月額を記入、決算期等で費用が異なる場合は12カ月分と決算料を合算し12で割った額を記入してください。

●賞与について

記入対象期間 2012年10月1日を含む貴事業所の会計期間

例) 会計期間が1月1日～12月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は2012年1月1日～2012年12月1日

会計期間が4月1日～3月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は2012年4月1日～2013年3月31日

会計期間が11月1日～10月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は2012年11月1日～2013年10月31日

※対象者、対象支給がない場合は該当欄に「0」をご記入ください。

	1.賞与の支給対象となつた従業員数 単位:人	2.対象期間における賞与の支給額 単位:円
週20時間以上勤務の方について		
a [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)		
b [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)		
c [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)		
d 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について		
e 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等。		
週20時間未満勤務の方について		
f [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)		
g [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)		
h [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)		
i 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について		
j 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等。		

註1 座位保持装置事業と車いす事業との間で、切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた数値をご記入ください。

註2 経営者で、かつ製作あるいは営業を兼務されている方(義肢装具士資格を持つ経営者の方を含みます)につきましては、管理部門の欄にご記入下さい。

●各種社会保険適用の有無

下記の社会保険のなかで事業所に適用されているものに○印を、適用されていないものに×印をご記入ください。

健康保険	<input type="checkbox"/>
厚生年金保険	<input type="checkbox"/>
労災保険	<input type="checkbox"/>
雇用保険	<input type="checkbox"/>

●労働時間に占める移動時間の割合

下記の各区分ごとに、全労働時間中に占める移動時間の比率をお書きください。

移動時間の比率	
週20時間以上勤務の方について	
a [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)	%
b [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)	%
c [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)	%
d 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について	%
e 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等。	%
週20時間未満勤務の方について	
f [義肢装具士] 義肢・装具・座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士について(註1・註2)	%
g [その他製作従事者] 義肢・装具の製作、座位保持装置の製作・営業に従事する義肢装具士資格を持たない従業員について(註1・註2)	%
h [管理部門] 経営者、役員ならびに経理・人事等事務にかかる従業員について(註2)	%
i 義肢・装具・座位保持装置以外の事業に従事する従業員について	%
j 会計士等事務にかかる専門技能を持つ人の雇用、用務依頼等。	%

註1 座位保持装置事業と車いす事業との間で、切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた数値をご記入ください。

註2 経営者で、かつ製作あるいは営業を兼務されている方(義肢装具士資格を持つ経営者の方を含みます)につきましては、管理部門の欄にご記入下さい。

●過去3年間の事業新設の状況について
ご記入の金額について、消費税は、消費税控の別を記載していただき、1.消費税一
率可算額、消費税控の金額をご記入下さい。

1. 2010年10月1日を含む会計期間 ()年()月()日()月()日

業種	業種	単位:千円
A-1 営業費用 ※事業における人件費、材料費、光熱費、賃借料、運賃、交通費、通信費、雑費、消費税控、減価償却費、固定資産の減価償却費、営業費用の合計額をお書き下さい。	B-1 営業収益 ※事業における売上高の合計額(純売上高)をお書き下さい(注1)。	
A-2 営業外費用 ※前入金(ローン)や社債等の金庫上の運用(貸付利回り)、有価証券の売却益(売却益)など、本業以外の経営活動で生じた費用を記入下さい。ただし、特別損失(運賃、特別損失)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な損失、固定資産売却損、減価償却損、火災被害などの損失を除きます。法人税の支払も含まれません。	B-2 営業外収益 ※受取利息、受取配当金、補助金など、本業以外の経営活動で生じた収入を記入下さい。ただし、特別利益(運賃、特別利益)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な利益、固定資産売却益、減価償却益、売却益、関係会社株式売却益などは除きます。	
A-3 (合計)営業費用 [B-1]+[A-2]	B-3 (合計)営業収益 [B-1]+[B-2]	
利益		
G-1 (合計)営業利益 [B-1]-[A-1]		
G-2 標準利益 [B-3]-[A-3]		
合計 [A-1]+[A-2]+[G-2]		

2. 2011年10月1日を含む会計期間 ()年()月()日()月()日

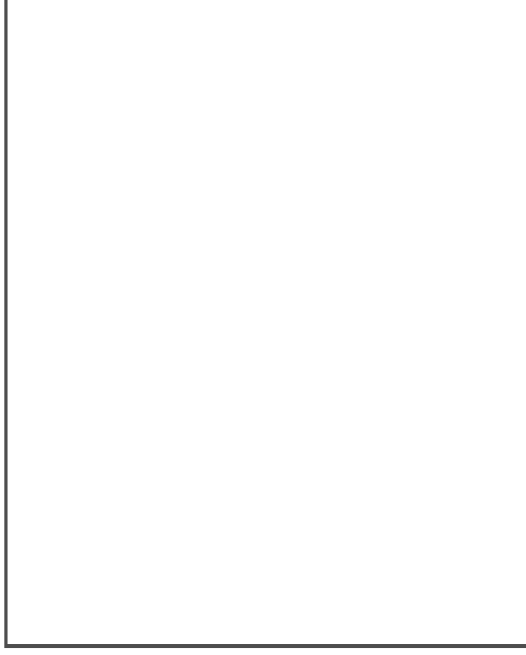
業種	業種	単位:千円
A-1 営業費用 ※事業における人件費、材料費、光熱費、賃借料、運賃、交通費、通信費、雑費、消費税控、減価償却費、固定資産の減価償却費、営業費用の合計額をお書き下さい。	B-1 営業収益 ※事業における売上高の合計額(純売上高)をお書き下さい(注1)。	
A-2 営業外費用 ※前入金(ローン)や社債等の金庫上の運用(貸付利回り)、有価証券の売却益(売却益)など、本業以外の経営活動で生じた費用を記入下さい。ただし、特別損失(運賃、特別損失)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な損失、固定資産売却損、減価償却損、火災被害などの損失を除きます。法人税の支払も含まれません。	B-2 営業外収益 ※受取利息、受取配当金、補助金など、本業以外の経営活動で生じた収入を記入下さい。ただし、特別利益(運賃、特別利益)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な利益、固定資産売却益、減価償却益、売却益、関係会社株式売却益などは除きます。	
A-3 (合計)営業費用 [B-1]+[A-2]	B-3 (合計)営業収益 [B-1]+[B-2]	
利益		
G-1 (合計)営業利益 [B-1]-[A-1]		
G-2 標準利益 [B-3]-[A-3]		
合計 [A-1]+[A-2]+[G-2]		

3. 2012年10月1日を含む会計期間 ()年()月()日()月()日

業種	業種	単位:千円
A-1 営業費用 ※事業における人件費、材料費、光熱費、賃借料、運賃、交通費、通信費、雑費、消費税控、減価償却費、固定資産の減価償却費、営業費用の合計額をお書き下さい。	B-1 営業収益 ※事業における売上高の合計額(純売上高)をお書き下さい(注1)。	
A-2 営業外費用 ※前入金(ローン)や社債等の金庫上の運用(貸付利回り)、有価証券の売却益(売却益)など、本業以外の経営活動で生じた費用を記入下さい。ただし、特別損失(運賃、特別損失)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な損失、固定資産売却損、減価償却損、火災被害などの損失を除きます。法人税の支払も含まれません。	B-2 営業外収益 ※受取利息、受取配当金、補助金など、本業以外の経営活動で生じた収入を記入下さい。ただし、特別利益(運賃、特別利益)運賃の経営活動とは関係がない、特別な要因で発生した臨時・偶発的な利益、固定資産売却益、減価償却益、売却益、関係会社株式売却益などは除きます。	
A-3 (合計)営業費用 [B-1]+[A-2]	B-3 (合計)営業収益 [B-1]+[B-2]	
利益		
G-1 (合計)営業利益 [B-1]-[A-1]		
G-2 標準利益 [B-3]-[A-3]		
合計 [A-1]+[A-2]+[G-2]		

●その他
義肢・装具・座位保持装置の価格制度について、ご意見等ございましたらご記入下さい。

(本問は自由記入形式です。)



ご回答いただく設問はここまでです。ご協力ありがとうございます。

義肢・装具・座位保持装置製作費用実態調査
調査票C：素材単価について

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
山崎 伸也
我澤 賢之

※本研究は、厚生労働科学研究費障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野）「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」（研究代表者 井上 剛伸）を受け行っております。

●事業所名・所在地・ご回答担当者様等について

貴事業所ならびに担当者様についてご記入下さい。

事業所の所在する都道府県名についてご記入下さい。	
ご回答事業者様事業所名	
担当者様ご氏名	
担当者様電話番号	
担当者様メールアドレス	

下記の団体に加入されている場合、○印をお書き下さい。

日本義肢協会	
日本車いすシーティング協会	

素材単価に関する調査

貴事業所での購入価格(単価)についてご記入ください。調査票に挙げた3つの時点のうち記入可能な凡ての時点についてご回答をお願いします。

※義肢・装具製作事業者の方、座位保持装置製作事業者の方、共通の調査票となっております。取り扱いはある素材についてのみご回答ください。

(お取り扱いのない品についてはご回答いただく必要はありません。その場合該当欄を空欄としておいてください。)

※価格の変動率に関心がありますので、各時点ともサイズ・仕様など同等のものの価格をご記入ください。

※単位については、回答が難しい場合適宜ご修正ください。その場合、修正したことがわかりやすいよう、単位欄のセルの背景を着色するなどしてください。

なお各時点の単位は、同一のものにそろえていただけますようお願いいたします。

※価格については、「消費税別(税抜)価格」をお書きください。(もし税別の記入が困難などございましたら、表の備考欄にその旨お書きください。)

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
1 情報カード					円/枚
2 投影図用紙					円/枚
3 コピー鉛筆					円/本
4 水性ペン					円/本
5 両面テープ					円/本
6 石膏(ギブス粉)(1袋25kg)					円/袋
7 プラスランE (1巻)					円/巻
8 ギブス包帯 2列(1巻)					円/巻
9 ギブス包帯 3列(1巻)					円/巻
10 アクリル樹脂硬性					円/kg
11 アクリル樹脂軟性					円/kg
12 アクリル樹脂(軟性・硬性)混合					円/kg
13 熱硬化性樹脂 硬性					円/kg
14 熱硬化性樹脂 軟性					円/kg
15 発泡樹脂					円/kg
16 ポリプロピレン 4mm					円/㎡
17 コ・ポリマー 3mm					円/㎡

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
18 サブ・オルソレン 3mm			円/㎡		円/㎡		円/㎡
19 オルソレン 3mm			円/㎡		円/㎡		円/㎡
20 トレッククリア 3mm			円/㎡		円/㎡		円/㎡
21 アセトン・シンナー類			円/㎡		円/㎡		円/㎡
22 PVA シート			円/枚		円/枚		円/枚
23 PVA 4"			円/枚		円/枚		円/枚
24 PVA 6"			円/枚		円/枚		円/枚
25 PVA 8"			円/枚		円/枚		円/枚
26 PVA 10"			円/枚		円/枚		円/枚
27 PVA 12"			円/枚		円/枚		円/枚
28 ナイロンストッキネット 2"			円/kg		円/kg		円/kg
29 ナイロンストッキネット 3"			円/kg		円/kg		円/kg
30 ナイロンストッキネット 4"			円/kg		円/kg		円/kg
31 ナイロンストッキネット 10"			円/kg		円/kg		円/kg
32 ストッキング			円/kg		円/kg		円/kg
33 Vマット(1m幅)			円/m		円/m		円/m
34 テトロソフェルト(1m幅)			円/m		円/m		円/m
35 トレカクロス25mm			円/m		円/m		円/m
36 トレカクロス50mm			円/m		円/m		円/m
37 カーボンストッキネット 3インチ			円/m		円/m		円/m
38 カーボンストッキネット 4インチ			円/m		円/m		円/m
39 カーボンストッキネット 5インチ			円/m		円/m		円/m
40 カーボンストッキネット 6インチ			円/m		円/m		円/m
41 カーボンストッキネット 8インチ			円/m		円/m		円/m

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
42 カーボンシート材			円/㎡		円/㎡		円/㎡
43 カーボン帯状のもの(2.5cm幅)			円/m		円/m		円/m
44 カーボン帯状のもの(5cm幅)			円/m		円/m		円/m
45 グラスファイバー			円/㎡		円/㎡		円/㎡
46 クローム革			円/ds		円/ds		円/ds
47 なめし革			円/ds		円/ds		円/ds
48 スメ革			円/ds		円/ds		円/ds
49 茶利革			円/ds		円/ds		円/ds
50 合成皮革(クラリーノ等)			円/ds		円/ds		円/ds
51 木ブロック			円/個		円/個		円/個
52 桐材			円/m		円/m		円/m
53 アンクルブロック(ホウ材)			円/個		円/個		円/個
54 軽合金(ナマコポー) 16mm × 1m			円/本		円/本		円/本
55 半月材 厚さ2mm 幅13mm × 1m			円/本		円/本		円/本
56 PEライト5mm(1m角)			円/枚		円/枚		円/枚
57 黄スポンジ			円/枚		円/枚		円/枚
58 ピラミッドシート等滑り止めシート			円/枚		円/枚		円/枚
59 ゴム帯地(25mm幅)			円/m		円/m		円/m
60 ダクロンテープ(25mm幅)			円/m		円/m		円/m
61 ビニール管(義手・腋下部用)			円/m		円/m		円/m
62 ベルト(バックル)			円/個		円/個		円/個
63 丸環			円/個		円/個		円/個
64 フェルト			円/m		円/m		円/m

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
65 帆布			円/m		円/m		円/m
66 オペロン			円/m		円/m		円/m
67 パイル地			円/m		円/m		円/m
68 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。	布(上記以外のもの)		円/m		円/m		円/m
69 スパンデックス			円/m		円/m		円/m
70 リフト版			円/m		円/m		円/m
71 ウレタンチップ #6000 10mm			円/m		円/m		円/m
72 ウレタンチップ #6000 20mm			円/m		円/m		円/m
73 ウレタンチップ #6000 60mm			円/m		円/m		円/m
74 ウレタンチップ #8000 10mm			円/m		円/m		円/m
75 ウレタンチップ #8000 20mm			円/m		円/m		円/m
76 ウレタンチップ #8000 60mm			円/m		円/m		円/m
77 ウレタン 10mm厚			円/m		円/m		円/m
78 低反発ウレタン 15mm厚			円/m		円/m		円/m
79 ムマック 10mm厚			円/m		円/m		円/m
80 ムマック 15mm厚			円/m		円/m		円/m
81 合板 90cm x 180cm 9mm厚			円/枚		円/枚		円/枚
82 ビニールレザー			円/m		円/m		円/m
83 マジックベルト 25mm幅			円/m		円/m		円/m
84 マジックベルト 30mm幅			円/m		円/m		円/m
85 マジックベルト 38mm幅			円/m		円/m		円/m
86 マジックベルト 40mm幅			円/m		円/m		円/m
87 マジックベルト 50mm幅			円/m		円/m		円/m

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
88 <small>インフラ用 上記以外の幅のもの</small> (上記以外の幅のもの)の購入がある場合、右の備考欄にサイズをお書きのうえ、価格をお書きください。			円/m		円/m		円/m
89 <small>インフラ用 上記以外の幅のもの</small> (上記以外の幅のもの)の購入がある場合、右の備考欄にサイズをお書きのうえ、価格をお書きください。			円/m		円/m		円/m
90 Wラッセル			円/m		円/m		円/m
91 エアータッチ(シングル)			円/m		円/m		円/m
92 エアータッチ(ダブル)			円/m		円/m		円/m
93 ナイロンベルト 25mm幅			円/m		円/m		円/m
94 ナイロンベルト 38mm幅			円/m		円/m		円/m
95 ナイロンベルト 50mm幅			円/m		円/m		円/m
96 ラミネート 5mm厚			円/m		円/m		円/m
97 防水シート			円/m		円/m		円/m
98 バックル 25mm幅用			円/個		円/個		円/個
99 バックル 38mm幅用			円/個		円/個		円/個
100 バックル 50mm幅用			円/個		円/個		円/個
101 アジャスター 25mm幅用			円/個		円/個		円/個
102 アジャスター 38mm幅用			円/個		円/個		円/個
103 アジャスター 50mm幅用			円/個		円/個		円/個
104 Dカン 25mm幅用			円/個		円/個		円/個
105 Dカン 38mm幅用			円/個		円/個		円/個
106 Dカン 50mm幅用			円/個		円/個		円/個
107 角カン 25mm幅用			円/個		円/個		円/個
108 角カン 38mm幅用			円/個		円/個		円/個

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)についてご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)についてご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)についてご記入ください。	単位
109 角カン 50mm幅用			円/個		円/個		円/個
110 インプレッションフォーム			円/個		円/個		円/個
111 フットプリント用紙			円/枚		円/枚		円/枚
ステンレスパイプ			円/()		円/()		円/()
112 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
アルミパイプ			円/()		円/()		円/()
113 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
鉄パイプ			円/()		円/()		円/()
114 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
木材			円/()		円/()		円/()
115 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
塗料			円/()		円/()		円/()
116 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
ミンシ系			円/()		円/()		円/()
117 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
麻糸			円/()		円/()		円/()
118 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
スピンドル紐(ダーメン紐)			円/()		円/()		円/()
119 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
ボルト			円/()		円/()		円/()
120 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
ナット			円/()		円/()		円/()
121 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()

素材名	備考欄 サイズ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。	平成26年4月～9月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成23年10月～24年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位	平成21年10月～22年3月の期間中のいずれかの時点での購入価格(税別)にご記入ください。	単位
フッシャー 122 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()
スプリングワッシャー 123 ※各時点でサイズ・仕様が同じものの価格をご記入ください。			円/()		円/()		円/()

ご回答いただく設問はここまでです。ご協力もありがとうございます。

